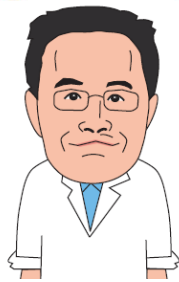


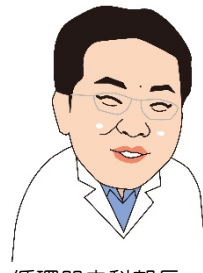
垂水市立医療センター—垂水中央病院



病院外観



院長
竹中 俊宏 先生



循環器内科部長
(研修医指導担当医師)
桑波田 聡 先生

実習施設情報

★<http://tarumizumh.jp/>

所在地	〒891-2124 鹿児島県垂水市錦江町1-140
施設長	竹中 俊宏
診療科目	内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、放射線科、呼吸器内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、眼科、耳鼻咽喉科、糖尿病内科、泌尿器科(人工透析)、血液内科
診療時間	月曜～金曜 8:30～12:30、13:30～17:00 土曜 8:30～12:30 休診 日曜・祝日
病床数	126床(一般病棟91、療養病床35)
スタッフ	常勤医師13人(内科5人、循環器内科1人、消化器内科1人、外科2人、泌尿器科1人、眼科2人、放射線科1人)、看護師90人、薬剤師9人、診療放射線技師5人、臨床検査技師7人、臨床工学技士4人、管理栄養士3人、リハビリテーション療法士(PT・OT・ST)34人、視能訓練士3人、医療ソーシャルワーカー4人など
設備	マルチスライスCT、MRI、デジタルX線TV装置、骨密度測定装置、超音波診断装置(4台)、ハイビジョン内視鏡ビデオシステム・スコープ、人工透析装置、腹腔鏡下内視鏡システムなど 富士通社製電子カルテシステム 介護老人保健施設、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションを併設
院長からのメッセージ	垂水市は人口1万4千人あまりの地方の小さな町ですが、その市立病院が垂水中央病院です。この地域の中核病院として専門的な高度医療を行う機能も重要ですが、高齢化率41%という高齢化した地域であるため、“プライマリ・ケア”、“在宅医療”が重要となっています。当院の内科は専門領域にこだわらず、内科一般に対応しており、外来では高血圧、糖尿病などの生活習慣病、骨粗しょう症など、入院では肺炎、心不全、脳卒中などが主な診療対象となっています。また、在宅療養支援室が肝属郡医師会立訪問看護ステーション、垂水市地域包括ケアセンターと連携して、住民が住みなれた地域に住み続けられる町を目指しています。短い期間ですが、地方の医療の実験を体験し、今後、全国で必要性が強調されている“地域包括ケア”とそれを支える“総合診療医”の重要性を感じていただきたいと思います。

実習施設の特徴・実習内容

- ・在宅療養支援病院：在宅医療を積極的に行っており、ベテラン医師のもとで体験できます。
 - ・へき地医療拠点病院：週1回へき地診療所で診療しています。
 - ・地域包括医療・ケア認定施設：これからのキーワード“地域包括ケア”の町づくりを目指しています。
 - ・協力型臨床研修病院(鹿児島大学病院)、地域研修協力施設(聖路加国際病院、東京高輪病院、鹿児島市立病院)：2019年度は鹿児島大学病院から9名、聖路加国際病院から6名、東京高輪病院から2名の研修医が研修しました。
 - ・基幹施設(総合診療専門医、新・家庭医療専門医、老年病専門医)
 - ・連携施設(内科専門医:鹿大、鹿児島市立病院)、(総合診療専門医:鹿大、鹿児島市立病院)、(外科専門医:鹿大)、(眼科専門医:鹿大)、(泌尿器科専門医:鹿大)
 - ・研修施設等(日本内科学会、日本循環器学会、日本老年医学会、日本泌尿器科学会、日本眼科学会)
- *鹿児島市 ⇄ 垂水市:フェリーで40分、職員宿舎(温泉つき、インターネット環境あり)を提供